第75回国民体育大会
鹿児島県準備委員会

第 5 回 総 会

平成 27 年 5 月 27 日（水）
鹿児島サンロイヤルホテル

議　　事

⑴　審議事項

第１号議案

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会
平成26年度事業報告（案）

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会平成26年度事業計画に基づき，次の事業を実施し,円滑な準備業務に努めた。

１　開催準備の主要業務の推進

⑴　総務企画関係

ア　準備委員会の組織について

・　専門委員会の設置
（広報・県民運動，式典，輸送・交通，宿泊・衛生の各専門委員会）

イ　各種基本方針等の検討について

・　開催基本構想
・　開催準備総合計画（平成27年５月改訂）

ウ　各種基本方針等の決定について

・　専門委員会規程改正

エ　会場地市町村の選定について

・　正式競技の会場地市町村第二次選定
・　正式競技の会場地市町村第三次選定の検討

オ　開催申請書の作成について

⑵　広報・県民運動関係

ア　各種基本方針等の検討について

・　広報基本方針
・　広報基本計画
・　県民運動基本方針
・　県民運動基本計画

イ　各種基本方針等の決定について

・　広報基本方針
・　広報基本計画

ウ　愛称・スローガン等の選定について

・　愛称・スローガンの全国公募及び選定
・　マスコットキャラクターの制定

⑶　競技・式典関係

ア　各種基本方針等の検討について

・　競技用具整備基本方針
・　式典基本方針

イ　各種基本方針等の決定について

・　競技運営基本方針
・　デモンストレーションスポーツ実施基本方針

ウ　中央競技団体正規視察について

・　会場地市町村が決定している33競技について実施
（平成26年７月25日～平成27年２月26日）

エ　公開競技について
・　実施競技及び会場地市町村選定の検討

⑷　施設調整，輸送・宿泊関係
ア　競技会場予定施設について
・　施設改修予定調査
イ　各種基本方針等の検討について
・　輸送・交通基本方針
・　宿泊基本方針
・　医事・衛生基本方針

2　会議の開催

会議名		回	期　日	主　な　内　容
総会		第４回	平成26年 ５月26日	・平成25年度事業報告及び収支決算（案）の承認 ・平成26年度事業計画及び収支予算（案）の承認 ・第３回常任委員会決定事項の報告
常任委員会		第３回	平成26年 ５月26日	・専門委員会規程改正（案）の審議，決定 ・正式競技の会場地市町村第二次選定（案）の審議，決定 ・競技運営基本方針（案）の審議，決定 ・デモンストレーションスポーツ実施基本方針（案）の審議，決定
		第４回	平成26年 11月17日	・広報基本方針（案）の審議，決定 ・広報基本計画（案）の審議，決定 ・開催基本構想（原案）の審議
専門委員会	総務	第４回	平成26年 ４月23日	・開催基本構想（構成案）の審議 ・正式競技の会場地市町村第二次選定（案）の審議
		第５回	平成26年 11月13日	・開催基本構想（原案）の審議
	競技	第４回	平成26年 ４月23日	・競技運営基本方針（案）の審議
		第５回	平成27年 １月26日	・競技用具整備基本方針（案）の審議 ・デモンストレーションスポーツ会場地市町村選定に係るスケジュール（案）の審議，決定 ・平成27年度競技役員養成事業計画（案）の審議，決定
	広報・県民運動	第１回	平成26年 ９月29日	・広報基本方針（案）の審議 ・広報基本計画（案）の審議 ・愛称・スローガンの募集・選定方法（案）

会議名		回	期　日	主　な　内　容
専門委員会	広報・県民運動	第２回	平成26年11月25日	・愛称・スローガン募集要項（案）の審議，決定 ・愛称・スローガン審査要領（案）の審議，決定 ・広報・県民運動専門委員会部会設置要綱（案）の審議，決定 ・マスコットキャラクターの制定（案）の審議
		愛称・スローガン選定部会	平成27年３月30日	・愛称選定（案）の審議 ・スローガン選定（案）の審議
	式典	第１回	平成27年１月26日	・式典基本方針（案）の審議
	輸送・交通	第１回	平成27年１月22日	・輸送・交通基本方針（案）の審議 ・輸送・交通基礎調査の実施（案）の説明
	宿泊・衛生	第１回	平成27年１月22日	・宿泊基本方針（案）の審議 ・医事・衛生基本方針（案）の審議 ・宿泊施設等基礎調査の実施（案）の説明

３　各種調査等の実施

⑴　第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」視察

ア　炬火集火式（長崎県長崎市：平成26年９月６日）

イ　総合リハーサル（長崎県諫早市：平成26年10月５日）

ウ　本大会

（長崎県諫早市，長崎市，佐世保市等：平成26年10月12日～10月22日）

⑵　国民体育大会リハーサル大会視察

ア　第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」

カヌー競技，山岳競技，馬術競技など（平成26年４月26日～６月22日）

イ　第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」

ホッケー競技，アーチェリー競技など（平成26年５月23日～９月14日）

⑶　県内外国体開催競技施設視察

ア　三木ホースランドパーク（兵庫県三木市：平成26年７月９日）

イ　福井県立ライフル射撃場（福井県福井市：平成26年７月10日）など

⑷　第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」視察

ア　総合開会式（長崎県諫早市：平成26年11月１日）

⑸　国民体育大会第34回九州ブロック大会視察
ア　山岳競技（熊本県熊本市：平成26年７月19日）

⑹　県内競技会視察
ア　第27回トライアスロン徳之島大会（天城町等：平成26年６月29日）
イ　第２回世界遺産「屋久島」オープンウォータースイミング2014
（屋久島町：平成26年７月５日）

４　関係機関・団体等との協議
⑴　国体委員会
・　公益財団法人日本体育協会
（東京都:平成26年５月15日，６月12日，12月11日，平成27年３月12日）

⑵　国体開催県検討会議
・　福井県（福井市等：平成26年７月10日～11日）
・　茨城県（水戸市等：平成27年１月29日～30日）

⑶　国体開催地連絡協議会
・　長崎県（長崎市：平成26年11月26日）

⑷　第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」第１回競技会運営三者会議
・　愛媛県（松山市：平成27年１月16日）

５　競技役員等養成事業の実施
⑴　中央講習会等派遣事業
審判員及び要資格運営員の資格取得，資格維持及び審判資格向上を図るための中央（地区）競技団体が実施する講習会・審査会等への派遣に対する補助
・　34団体　72回　延べ189人派遣

⑵　県内講習会等開催事業
審判員及び要資格運営員の資格取得，資格維持及び審判資格向上を図るための中央（地区又は県内）講師を招いた講習会・審査会等の開催に対する補助
・　23団体　52回　延べ666人受講

⑶　開催準備活動事業
・　36団体　91人派遣（第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」視察など）

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会
平成26年度収支決算（案）

1　収入

（単位：円）

科目	予算額(a)	決算額(b)	差額(a-b)	備　　考
負担金	17,505,000	17,505,000	0	鹿児島県負担金
諸収入	2,000	2,088	△88	預金利息
繰越金	6,533,000	6,533,966	△966	前年度繰越金
合　　計	24,040,000	24,041,054	△1,054	

2　支出

（単位：円）

科目	予算額(c)	決算額(d)	差額(c-d)	備　　考
事業費	7,726,000	6,122,713	1,603,287	開催準備主要事業経費 　総会等開催，先催県等現地調査，各種基本方針等の検討・決定など開催準備に係る経費
補助事業費	13,590,000	12,635,635	954,365	競技役員等養成事業補助金 　中央講習会等派遣事業，県内講習会等開催事業など競技役員等養成に係る経費
事務局費	2,724,000	2,659,082	64,918	事務局運営経費 　国民体育大会委員会（日本体育協会），国体開催県検討会議（先催県）等に係る経費
合　　計	24,040,000	21,417,430	2,622,570	

収入決算額(b)　　支出決算額(d)　　差引残額（次年度繰越）
24,041,054円　－　21,417,430円　＝　2,623,624円

監　査　報　告　書

第７５回国民体育大会鹿児島県準備委員会会則第７条第４項の規定に基づき，平成２６年度の収支決算案に関する証拠書類及び関係諸帳簿を監査したところ，すべて適正に処理されていることを認める。

平成 27 年 4 月 22 日

監　事　　鹿児島県市長会事務局長　　岸尾　　隆　印

平成 27 年 4 月 22 日

監　事　　鹿児島県町村会事務局長　　坂上　省悟　印

平成 27 年 4 月 23 日

監　事　　鹿児島県会計管理者(兼)出納局長　　久木田　義朗　印

第２号議案

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会
平成27年度事業計画（案）

「第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会開催準備総合計画」に基づき，平成27年度事業計画を次のとおりとし，円滑な準備業務に努める。

１　開催準備の主要業務の推進

⑴　開催申請について
ア　開催申請書の提出（６月上旬）
イ　開催内定書の受領（７月頃）

⑵　各種基本方針等の策定等について
ア　競技用具整備要項の検討
イ　記録業務基本方針の検討
ウ　記録業務推進計画の検討
エ　県民運動アクションプログラムの検討
オ　式典基本構想の検討
カ　輸送・交通基本計画の検討
キ　宿泊基本計画の検討
ク　医事・衛生基本計画の検討　など

⑶　会場地市町村の選定について
ア　正式競技の会場地市町村第三次選定
イ　公開競技の実施競技及び会場地市町村選定
ウ　デモンストレーションスポーツの実施競技及び会場地市町村選定の希望調査

⑷　中央競技団体正規視察の実施について
ア　正式競技（第三次選定分）

⑸　広報事業の実施について
ア　愛称・スローガンの選定，マスコットキャラクターの制定
イ　広報紙等の発行
ウ　専用ホームページの制作
エ　各種イベントと連携したＰＲ活動

２　会議の開催

⑴　総会

⑵　常任委員会

⑶　専門委員会

⑷　競技団体連絡会議

⑸　市町村連絡会議

⑹　競技運営連絡会議　など

3　各種調査等の実施

⑴　各種基礎調査
ア　国体会期等に係る調査
イ　競技用具整備に係る第一次調査
ウ　競技役員等編成に係る第一次調査
エ　輸送・交通に係る基礎調査
オ　宿泊施設等に係る基礎調査

⑵　国民体育大会等視察
ア　第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」
会期前：平成27年９月６日～９月13日
会　期：平成27年９月26日～10月６日（９月22日～９月26日）
イ　第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」
リハーサル大会：平成27年５月～

⑶　県内外国体開催競技施設視察

4　関係機関・団体等との協議
公益財団法人日本体育協会国体委員会，国体開催県検討会議及び国体開催地連絡協議会への出席等

5　競技役員等養成事業の実施

⑴　中央講習会等派遣事業
中央（地区）競技団体が実施する講習会・審査会等への派遣に対する補助

⑵　県内講習会等開催事業
中央(地区又は県内)から講師を招き，講習会･審査会等の開催に対する補助

⑶　開催準備活動事業
競技団体が行う，国体に向けた準備活動に対する補助

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会
平成27年度収支予算（案）

1　収入

（単位：千円）

科　　目	予算額	備　考
負 担 金	４４，１２４	鹿児島県負担金
諸 収 入	３	預金利息
繰 越 金	２，６２３	前年度繰越金
合　　計	４６，７５０	

2　支出

（単位：千円）

科　　目	予算額	備　考
事 業 費	２７，３８２	開催準備主要事業経費 先催県等現地調査，各種基本方針等の検討・決定，広報事業（広報紙発行，ホームページ制作等），各種基礎調査（輸送・交通，宿泊施設等）など開催準備に係る経費
補助事業費	１４，２６５	競技役員等養成事業補助金 中央講習会等派遣事業及び県内講習会等開催事業など競技役員等養成に係る経費
事務局費	５，１０３	事務局運営経費 日本体育協会等との協議及び開催県検討会議の開催等に係る経費
合　　計	４６，７５０	

議　　事

(2)　専決処分報告事項

専決処分報告事項

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会

平成27年度暫定収支予算

「第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会会則」第14条第１項の規定により，次のとおり平成27年度暫定収支予算を専決処分したので，同条第２項の規定により，これを報告し，承認を求める。

（理　由）

平成27年４月１日から第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会第５回総会において平成27年度収支予算が成立するまでの間の予算を定める必要があるため，会長が専決処分を行ったものである。

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会の平成27年度暫定収支予算は，次のとおりとする。

１　収入　　（単位：千円）

科　　目	予算額	備　考
負 担 金	１３，３１０	鹿児島県負担金 （競技役員等養成事業負担金分）
諸 収 入	０	
繰 越 金	１，０００	前年度繰越金
合　　計	１４，３１０	

２　支出　　（単位：千円）

科　　目	予算額	備　考
事 業 費	７００	開催準備主要事業経費 先催県等現地調査など開催準備に係る経費
補助事業費	１３，３１０	競技役員等養成事業補助金 中央講習会等派遣事業，県内講習会等開催事業など競技役員等養成に係る経費
事務局費	３００	事務局運営経費 日本体育協会等との協議に係る経費　等
合　　計	１４，３１０	

議　　事

(3)　報告事項

報告事項１

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会役員及び委員の変更

平成26年５月28日から平成27年５月15日までの間における役員及び委員の変更については下記のとおりである。

「第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会会則」第８条第３項の規定により報告する。

役職名	所属団体等	役職名	新任者	前任者
副会長	鹿児島県教育委員会	※教育長	古川　仲二	島津　公保
	公益財団法人鹿児島県体育協会	副会長	本坊　　修	大西　洋逸
常任委員	鹿児島県議会	副議長	外薗　勝蔵	松里　保廣
	鹿児島県議会総務委員会	委員長	禧久　伸一郎	藤﨑　　剛
	鹿児島県議会文教警察委員会	委員長	桑鶴　　勉	柳　　誠子
	鹿児島県総務部	部長	寺田　雅一	稲原　　浩
	鹿児島県総務部県民生活局	局長	三角　浩一	岩切　剛志
	鹿児島県企画部	部長	岩切　剛志	古川　仲二
	鹿児島県環境林務部	部長	川野　敏彦	新川　龍郎
	鹿児島県保健福祉部	部長	古薗　宏明	松田　典久
	鹿児島県商工労働水産部	部長	武盛　武士	田中　和彦
	鹿児島県商工労働水産部観光交流局	局長	長野　信弘	武盛　武士
	鹿児島県危機管理局	総括危機管理監 (兼)危機管理局長	永野　　司	屋島　明人
	鹿児島県警察本部	本部長	種部　滋康	池田　克史
	鹿児島県高等学校体育連盟	会長	堂園　弘之	山之口　大
	公益財団法人鹿児島県体育協会	副会長	末永　皓久	鳥丸　卓三
	鹿児島県スポーツ推進委員協議会	会長	大田黒　博	永野　貞行
	鹿児島経済同友会	代表幹事	玉川　文生	永田　文治
	鹿児島県農業協同組合中央会	会長	久保　茂吉	松﨑　俊明
	公益社団法人日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会	会長	河野　直正	西田　憲智
監事	鹿児島県出納局	会計管理者 (兼)出納局長	久木田　義朗	田中　健吾
委員	鹿児島県議会産業経済委員会	委員長	吉留　厚宏	小園　しげよし
	鹿児島県議会企画建設委員会	委員長	寺田　洋一	園田　　豊
	鹿児島県議会環境厚生委員会	委員長	堀之内　芳平	髙橋　　稔
	鹿児島県鹿児島地域振興局	局長	西　啓一郎	桑水流　力郎
	鹿児島県北薩地域振興局	局長	竹田　和昭	萩　　亮
	鹿児島県姶良・伊佐地域振興局	局長	牟田神　圭介	陶山　　修
	鹿児島県大隅地域振興局	局長	酒匂　　司	三角　浩一
	鹿児島県熊毛支庁	支庁長	寺園　直喜	堂前　博文
	中種子町	町長	田渕川　寿広	川下　三業
	南種子町	町長	名越　　修	梶原　弘徳

※教育委員会制度改革による役職変更

役職名	所属団体等	役職名	新任者	前任者
委員	海上保安庁第十管区海上保安本部	本部長	赤津　洋一	藤井　寿夫
	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所	所長	加治　賢祐	－
	大学地域コンソーシアム鹿児島	会長	津曲　貞利	福永　哲夫
	一般社団法人鹿児島県専修学校各種学校協会鹿児島県専門学体育連盟	会長	村田　直志	楠元　洋子
	鹿児島県ＰＴＡ連合会	会長	川原　慎一	外城戸　昭一
	鹿児島県コミュニティスポーツクラブ連絡協議会	代表幹事	鮫島　留美子	日高　紀孝
	鹿児島県テニス協会	会長	稲葉　直寿	大西　洋逸
	鹿児島県セーリング連盟	会長	熊谷　輝雄	久保　秀徳
	鹿児島県馬術連盟	会長	寺脇　康文	上村　　叶
	一般社団法人鹿児島県クレー射撃協会	代表理事	中﨑　増雄	白石　史朗
	鹿児島県漁業協同組合連合会	代表理事会長	野村　義也	上野　新作
	鹿児島県信用組合協会	会長	滿田　　學	西田　輝樹
	日本労働組合総連合会鹿児島県連合会	会長	榮留　道夫	東　　幸也
	九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社	取締役 鹿児島支社長	江副　孝博	松本　喜代孝
	日本航空株式会社鹿児島支店	支店長	二川　直人	岸　　周豊
	公益社団法人鹿児島県トラック協会	会長	黒木　一正	外薗　輝蔵
	日本旅館協会九州支部連合会鹿児島県支部	支部長	湯通堂　温	－
	鹿児島県公民館連絡協議会	会長	日髙　政勝	川添　　健
	鹿児島県子ども会育成連絡協議会	会長	永野　　治	橋　　和仁
	社会福祉法人鹿児島県保育連合会	会長	岩下　修一	下小野田　寛

報告事項２－①

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

第75回国民体育大会会場地市町村選定

《正式競技》（第三次選定）

競技	種目	種別	会場地市町村
バレーボール		少年男子，少年女子	鹿児島市
体操	競技	全種別	鹿児島市
	新体操	少年女子	
柔道		全種別	鹿児島市
弓道	近的	全種別	出水市
	遠的		
アーチェリー		全種別	鹿児島市
銃剣道		全種別	霧島市

【今後選定する競技】

※東京オリンピック強化対策として，今後，国体の正式競技に導入が計画されている競技

水球（女子）	オープンウォーター（男女）	ボクシング（女子）	ビーチバレー（男女）
トランポリン（男女）	レスリング（女子）	ウエイトリフティング（女子）	自転車（女子）
ラグビーフットボール（女子）			

《公開競技》

競技	種目	種別	会場地市町村
綱引		全種別	垂水市
武術太極拳		全種別	曽於市
パワーリフティング		全種別	知名町
ゲートボール		全種別	指宿市
グラウンド・ゴルフ		全種別	霧島市

参　考

第75回国民体育大会会場地市町村選定状況
（正式競技・特別競技第一次～第三次，公開競技）

	第一次・第二次選定の競技
	第三次選定の競技
	公開競技

出水市　（3競技）

軟式野球		成年男子
弓道	近的，遠的	全種別
高等学校野球【特別】	軟式	—

阿久根市　（1競技）

ボクシング		成年男子
		少年男子

薩摩川内市　（5競技）

ホッケー	全種別
バスケットボール	少年男子
ウエイトリフティング	成年男子
	少年男子
軟式野球	成年男子
空手道	全種別

いちき串木野市　（2競技）

バレーボール	成年男子
バスケットボール	少年女子

日置市　（2競技）

レスリング	成年男子
	少年男子
軟式野球	成年男子

南さつま市　（2競技）

サッカー		少年男子
山岳	リード	全種別
	ボルダリング	全種別

南九州市　（1競技）

ソフトボール	成年男子
	少年男子
	少年女子

枕崎市　（1競技）

なぎなた	全種別

指宿市　（3競技）

ソフトボール	成年女子
バドミントン	全種別
ゲートボール【公開】	

さつま町　（1競技）

ラグビーフットボール		少年男子

伊佐市　（1競技）

カヌー	カヌースプリント	全種別

湧水町　（1競技）

カヌー	カヌースラローム	全種別
	カヌーワイルドウォーター	全種別

姶良市　（3競技）

バスケットボール		成年男子
		成年女子
ライフル射撃	CP	成年男子
ゴルフ		女子

霧島市　（7競技）

サッカー		女子
ハンドボール		全種別
馬術		全種別
剣道		全種別
銃剣道		全種別
ゴルフ		成年男子
		少年男子
グラウンド・ゴルフ【公開】		

鹿児島市　（総合開会式・閉会式　15競技）

総合開会式・閉会式		
陸上競技		全種別
水泳		全種別
テニス		全種別
バレーボール		少年男子
		少年女子
体操	競技	全種別
	新体操	少年女子
セーリング		全種別
ソフトテニス		全種別
卓球		全種別
軟式野球		成年男子
柔道		全種別
ライフル射撃	CP以外	全種別
ラグビーフットボール		成年男子
アーチェリー		全種別
ボウリング		全種別
高等学校野球【特別】	硬式	—

曽於市　（1競技）

武術太極拳【公開】	

志布志市　（1競技）

サッカー		成年男子

垂水市　（2競技）

フェンシング		全種別
綱引【公開】		

鹿屋市　（3競技）

ボート		全種別
バレーボール		成年女子
自転車	ロード・レース	成年男子
		少年男子

肝付町　（1競技）

自転車	ロード・レース	成年男子
		少年男子

錦江町　（1競技）

自転車	ロード・レース	成年男子
		少年男子

南大隅町　（1競技）

自転車	ロード・レース	成年男子
		少年男子
	トラック・レース	成年男子
		少年男子

天城町　（1競技）

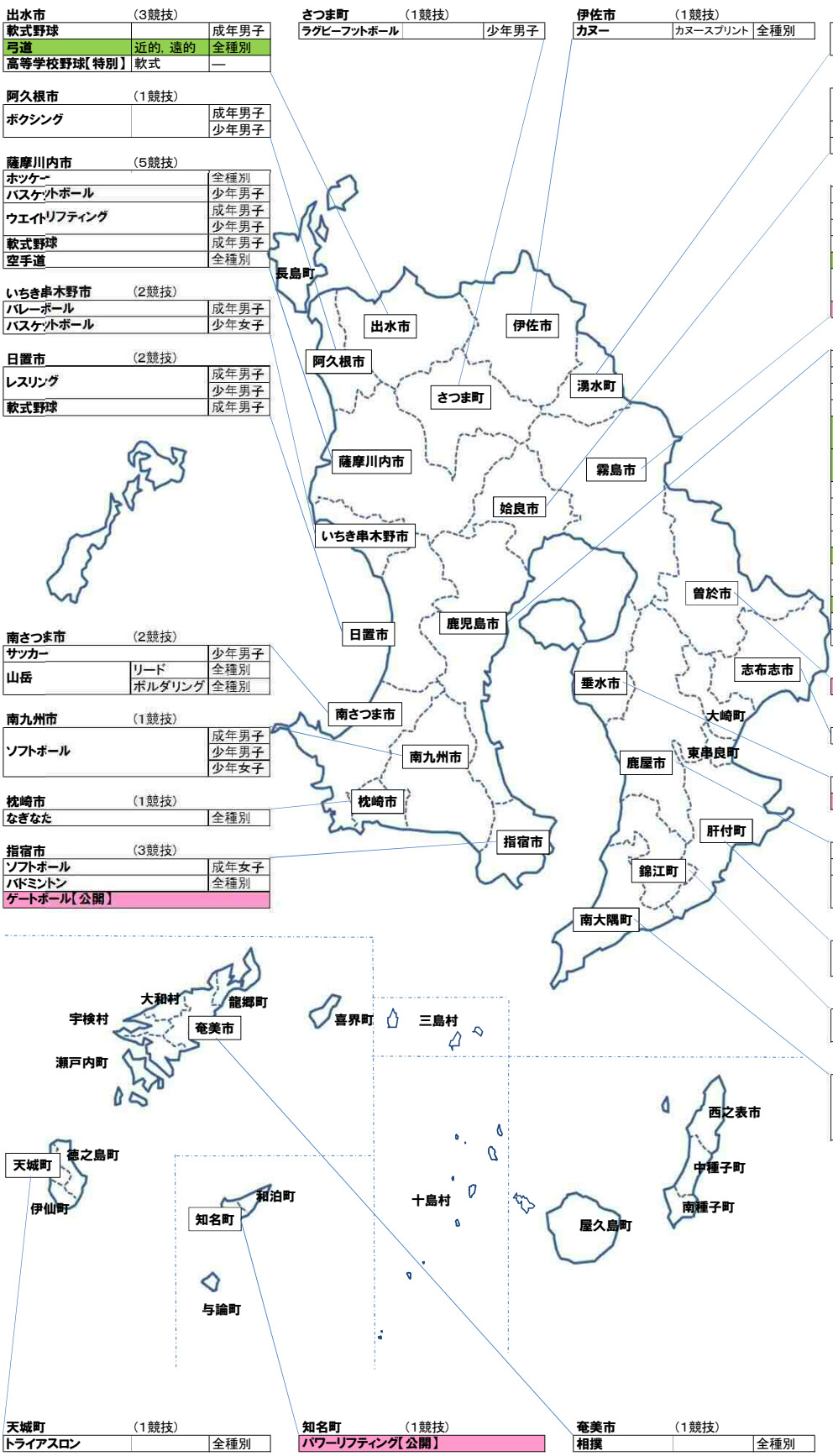
トライアスロン		全種別

知名町　（1競技）

パワーリフティング【公開】		

奄美市　（1競技）

相撲		全種別



参　考

第75回国民体育大会（鹿児島国体）会場地市町村及び競技会場等予定施設一覧

1　正式競技

平成27年5月27日現在

競技	種目	種別	会場地市町村	競技会場等予定施設
総合開・閉会式		―	鹿児島市	鹿児島県立鴨池陸上競技場
陸上競技		全種別	鹿児島市	鹿児島県立鴨池陸上競技場
水泳	競泳	全種別	鹿児島市	鴨池公園水泳プール
	飛込	全種別		
	水球	少年男子		
	シンクロナイズドスイミング	少年女子		
サッカー		成年男子	志布志市	志布志運動公園陸上競技場
				しおかぜ公園多目的広場
		女子	霧島市	国分運動公園陸上競技場
				国分運動公園多目的広場
				まきのはら運動公園多目的広場
		少年男子	南さつま市	加世田運動公園陸上競技場
				加世田運動公園多目的広場
				吹上浜海浜公園運動広場
テニス		全種別	鹿児島市	鹿児島県立鴨池庭球場
				東開庭球場
ボート		全種別	鹿屋市	鹿屋市大隅湖特設ボートコース（仮称）
ホッケー		全種別	薩摩川内市	薩摩川内市樋脇屋外人工芝競技場
				丸山自然公園人工芝コート
ボクシング		成年男子	阿久根市	阿久根総合運動公園総合体育館
		少年男子		
バレーボール		成年男子	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館
		成年女子	鹿屋市	平和公園串良平和アリーナ
		少年男子	鹿児島市	※（鹿児島市内体育館）
		少年女子		
体操	競技	全種別	鹿児島市	※（鹿児島アリーナ）
	新体操	少年女子		※（鹿児島市内体育館）
バスケットボール		成年男子	姶良市	姶良市総合運動公園体育館
		成年女子		姶良市蒲生体育館（おおくすアリーナ）
		少年男子	薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園総合体育館 （サンアリーナせんだい）
		少年女子	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館
レスリング		成年男子	日置市	吹上浜公園体育館
		少年男子		
セーリング		全種別	鹿児島市	鹿児島市平川特設セーリング会場（仮称）
ウエイトリフティング		成年男子	薩摩川内市	薩摩川内市入来総合運動場体育館
		少年男子		
ハンドボール		成年男子 成年女子	霧島市	霧島市牧園アリーナ
				霧島市横川体育館
				霧島市溝辺体育館
		少年男子 少年女子		霧島市国分体育館
				霧島市隼人体育館
自転車	ロード・レース	成年男子	鹿屋市，錦江町， 南大隅町， 肝付町	大隅広域特設ロード・レースコース（仮称）
		少年男子		
	トラック・レース	成年男子	南大隅町	鹿児島県根占自転車競技場
		少年男子		
ソフトテニス		全種別	鹿児島市	東開庭球場
卓球		全種別	鹿児島市	松元平野岡体育館
軟式野球		成年男子	鹿児島市	鹿児島県立鴨池野球場
				鴨池公園野球場（鴨池市民球場）
			日置市	伊集院総合運動公園野球場
				東市来運動公園湯之元球場
			薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園野球場
			出水市	出水市総合運動公園野球場

（注）「※（○○○）」は，今後，中央競技団体正規視察を受ける施設。

競技	種目	種別	会場地市町村	競技会場等予定施設
相撲		全種別	奄美市	奄美体験交流館
馬術		全種別	霧島市	霧島市牧園特設馬術競技場（仮称）
フェンシング		全種別	垂水市	垂水中央運動公園体育館
柔道		全種別	鹿児島市	※（鹿児島アリーナ）
ソフトボール		成年男子	南九州市	諏訪運動公園陸上競技場
		少年男子		知覧平和公園陸上競技場
		少年女子		知覧平和公園多目的球場
		成年女子	指宿市	開聞総合グラウンド
バドミントン		全種別	指宿市	指宿総合体育館
弓道	近的	全種別	出水市	※（出水市総合運動公園弓道場）
	遠的			※（出水市総合運動公園特設遠的会場）
ライフル射撃	50m, 10m・ＡＰ	全種別	鹿児島市	鹿児島県ライフル射撃場
	ＢＲ・ＢＰ			ハートピアかごしま
	ＣＰ	成年男子	姶良市	鹿児島県警察学校
剣道		全種別	霧島市	霧島市牧園アリーナ
ラグビーフットボール		成年男子	鹿児島市	鹿児島県立サッカー･ラグビー場
		少年男子	さつま町	北薩広域公園かぐや姫グラウンド
				北薩広域公園運動広場
山岳	リード	全種別	南さつま市	南さつま市加世田特設山岳会場（仮称）
	ボルダリング			
カヌー	カヌースプリント	全種別	伊佐市	伊佐市菱刈カヌー競技場
	カヌースラローム カヌーワイルドウォーター	全種別	湧水町	湧水町轟の瀬特設カヌー競技場（仮称）
アーチェリー		全種別	鹿児島市	※（鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場）
空手道		全種別	薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園総合体育館 （サンアリーナせんだい）
銃剣道		全種別	霧島市	※（霧島市溝辺体育館）
なぎなた		全種別	枕崎市	枕崎市立総合体育館
ボウリング		全種別	鹿児島市	サンライトゾーン
ゴルフ		成年男子	霧島市	霧島ゴルフクラブ
		少年男子		溝辺カントリークラブ
		女子	姶良市	鹿児島高牧カントリークラブ
トライアスロン		全種別	天城町	天城町特設トライアスロン会場（仮称）

37競技	17市6町	74会場（68施設）〔総合開･閉会式会場を含む。〕

（注）「※（○○○）」は，今後，中央競技団体正規視察を受ける施設。

2 特別競技

競技	種目	種別	会場地市町村	競技会場等予定施設
高等学校野球	硬式	―	鹿児島市	鹿児島県立鴨池野球場
				鴨池公園野球場（鴨池市民球場）
	軟式	―	出水市	出水市総合運動公園野球場

1競技	2市	3会場

3 公開競技

競技	種別	会場地市町村	競技会場等予定施設
綱引	全種別	垂水市	垂水中央運動公園体育館
武術太極拳	全種別	曽於市	曽於市末吉総合体育館
パワーリフティング	全種別	知名町	おきえらぶ文化センターあしびの郷･ちな
ゲートボール	全種別	指宿市	指宿市営陸上競技場
グラウンド･ゴルフ	全種別	霧島市	霧島市丸岡公園緑地公園

5競技	4市1町	5会場

報告事項２－②

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

第75回国民体育大会愛称・スローガン選定等

１　愛称・スローガン選定

最優秀作品

【愛称】

燃ゆる感動かごしま国体

《趣旨》

世界有数の活火山である桜島や明治維新を成し遂げた偉人に象徴される熱く情熱的な鹿児島。

アスリート達の熱気あふれるパフォーマンスや県民の心のこもったおもてなしが，熱く燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。

《受賞者》

鹿児島市　新改（しんかい）　蒔菜（まな）　さん　（鹿児島市立名山小学校４年）

【スローガン】

熱い鼓動　風は南から

《趣旨》

熱戦を繰り広げるアスリート達の熱い鼓動と会場に響きわたる歓声が，鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いが込められています。

《受賞者》

鹿児島市　川井田（かわいだ）　菜月（なつき）　さん　（鹿児島市立和田中学校１年）

優秀作品

【愛称】

風は南から鹿児島国体

《受賞者》　鹿児島市　片平（かたひら）　はな　さん　（鹿児島県立鹿児島南高校３年）

チェスト行け。鹿児島国体

《受賞者》　鹿児島市　塩満（しおみつ）　まゆみ　さん　（会社員）

かごしま海と緑の国体

《受賞者》　出水市　飯牟禮（いむれ）　幸樹（こうき）　さん　（団体職員）

【スローガン】

かけぬけろ　未来を走る　風になれ

《受賞者》　奄美市　橋口（はしぐち）　涼（すず）　さん　（奄美市立赤木名小学校５年）

燃やせ情熱　南の風に　夢のせて

《受賞者》　鹿児島市　榎薗（えのきぞの）　靖郎（やすろう）　さん　（無職）

はばたけ南の風にのって

《受賞者》　鹿児島市　岩元（いわもと）　哲郎（てつろう）　さん　（無職）

参　考

愛称・スローガンの募集結果

○募集期間　平成26年12月22日(月)～平成27年2月23日(月)　　※　全国公募
○応募方法　募集チラシについているはがき，郵便はがき，FAX，インターネット
○賞・賞金　愛称・スローガンそれぞれ
　　最優秀賞　各１作品　賞状，賞金５万円，記念品
　　優 秀 賞　各３作品　賞状，賞金１万円，記念品

１　応募延べ件数

区　分	件　数
愛　称	13,495
スローガン	12,820

２　県内・県外別件数

(1)　愛称

区　分	件　数	割　合
県　内	11,528	85.4%
県　外	1,967	14.6%
合　計	13,495	100.0%

(2)　スローガン

区　分	件　数	割　合
県　内	10,769	84.0%
県　外	2,051	16.0%
合　計	12,820	100.0%

３　小・中・高・一般別件数

(1)　愛称

区　分	件　数	割　合
小学生	5,096	37.8%
中学生	4,489	33.3%
高校生	1,112	8.2%
一　般	2,798	20.7%
合　計	13,495	100.0%

(2)　スローガン

区　分	件　数	割　合
小学生	4,850	37.8%
中学生	4,340	33.9%
高校生	1,089	8.5%
一　般	2,541	19.8%
合　計	12,820	100.0%

広報・県民運動専門委員会において決定した「募集要項」に基づき，上記のとおり全国公募を実施。
応募作品の中から，同専門委員会内に設置した「愛称・スローガン選定部会」での審査を経て，同専門委員会において最優秀作品等の選定（案）を決定。

【愛称・スローガン選定部会委員(平成27年3月末時点)】
部会長：鹿児島県知事公室次長兼広報課長　井多原 章一 氏
委　員：鹿児島県連合校長協会 副会長　山下 紀弘 氏
　　鹿児島県商工会議所連合会 常任幹事　山下 春洋 氏
　　公益社団法人鹿児島県観光連盟 観光プロデューサー　奈良迫 英光 氏
　　日本放送協会鹿児島放送局 放送部長　小原 茂 氏
　　株式会社南日本新聞社 編集局長　木脇 良知 氏

２　マスコットキャラクター制定

第75回国民体育大会のマスコットキャラクター
「ぐりぶーファミリー」

⑴　制定理由

ア　「ぐりぶー」は本県のＰＲキャラクターであり，県内外において本県の魅力を情報発信するために活用されており，すでに県民の認知度も高いことから，国体のＰＲを効果的に行うことが期待される。

　また，「ぐりぶー」だけでなく「ぐりぶーファミリー」をマスコットキャラクターに起用することで，本県の多彩な魅力を体現しているぐりぶーの子どもたちを効果的に活用することが可能であり，広報活動の幅広い展開が期待される。

イ　「ぐりぶーファミリー」を国体マスコットキャラクターに制定することで，さらに全国的な認知度が高まり，本県の魅力の発信につながることが期待される。

ウ　既存のマスコットキャラクターを活用することにより，地域性のある国体開催をアピールすることが期待される。

⑵　「ぐりぶーファミリー」概要

報告事項２－③

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

第75回国民体育大会開催基本構想

１　策定の趣旨

国体開催の方向性を明らかにし，開催準備に携わる機関・団体と開催に向けた取組の方向性を共有するとともに，広く県民への周知や気運の醸成を図る。

２　策定スケジュール

期　日	内　容
平成26年１月31日	第３回総務専門委員会 ○　開催基本構想の策定について審議
４月23日	第４回総務専門委員会 ○　開催基本構想（構成案）について審議
11月13日	第５回総務専門委員会 ○　開催基本構想（原案）について審議
11月17日	第４回常任委員会 ○　開催基本構想（原案）について審議
平成27年３月11日	平成27年第１回県議会定例会総務委員会 ○　開催基本構想（原案）について説明
５月21日	第６回総務専門委員会 ○　開催基本構想（案）について審議
５月27日	第５回常任委員会 ○　開催基本構想（案）について審議・決定
	第５回総会 ○　開催基本構想の策定について報告
６月～７月	○　印刷・製本
７月以降	○　市町村，競技団体等に配布・活用

３　開催基本構想

別添のとおり

報告事項２－④

国体準備委員会第４回常任委員会
平成 ２６ 年 １１ 月 １７ 日 決定

第75回国民体育大会広報基本方針

第75回国民体育大会（以下「大会」という。）の広報活動は，大会開催基本方針に基づき，開催意義を広く県内外に周知し，その理解を深めることにより，大会への参加意識の高揚を図り，県民の積極的な参加を実現するとともに，鹿児島の多彩な魅力を全国に発信するため，次のとおり広報活動を展開する。

１　県・市町村，関係機関・団体，企業，ＮＰＯ，ボランティア等との緊密な連携と協力のもとに，各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し，大会の積極的な広報に努める。

２　報道機関との連携や多様なメディアの活用により，大会に関する情報を迅速かつ広域的に伝達するとともに，鹿児島の多彩な魅力を全国に発信する。

３　大会を象徴し，広く県民に愛されるような愛称やスローガン等を制定し，その普及を図ることにより，大会開催の気運を高める。

４　大会の記録映像及び記録写真集等を制作し，その感動と興奮を永く記録にとどめ，大会開催の成果を鹿児島の財産として未来へ継承する。

報告事項２－⑤

国体準備委員会第４回常任委員会
平成２６年１１月１７日決定

第75回国民体育大会広報基本計画

第75回国民体育大会広報基本方針に基づき，次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

１　愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を制定し，普及する。

⑴　愛称・スローガン等の制定及び普及
⑵　マスコットキャラクターの制定及び普及
⑶　イメージソングの制定及び普及

２　印刷物等による広報

各種印刷物の作成及び既存の広報紙等を活用し，積極的な広報活動を展開する。

⑴　広報紙の発行
⑵　ポスターの作成
⑶　パンフレット，リーフレット等の作成
⑷　各種ガイドブックの作成
⑸　県・市町村，関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報紙等）の活用
⑹　広報グッズ等の作成

３　多様なメディアによる広報

報道機関との連携を密にし，迅速かつ広域的な情報の伝達に努める。

また，インターネットなど多様なメディアを活用し，より効果的な広報活動の展開を図る。

⑴　新聞，テレビ，ラジオ等による広報活動の推進
⑵　県・市町村の広報番組（テレビ，ラジオ）の活用
⑶　専用ホームページの開設やＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

４　イベント等による広報

大会開催までの節目において，啓発イベントを開催するとともに，県民運動や各種イベントと連携した広報啓発活動を実施する。

⑴　啓発イベントの開催
⑵　出前講座等の活用
⑶　県民（市町村民）運動及び各種団体・企業等のイベントとの連携

５　屋外等における広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

⑴　広告塔，歓迎塔，歓迎アーチ等の設置
⑵　横断幕，懸垂幕等の設置
⑶　案内板，カウントダウンボード等の設置

6　映像による広報

県民の参加意識の高揚を図るため，映像を活用した広報を実施する。

⑴　前回国体（太陽国体）記録映像，国体先催県記録映像（ＤＶＤ等）の貸出及びホームページ上での公開

⑵　広報用映像（ＤＶＤ等）の制作及び貸出

7　記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため，記録映像等を制作する。

⑴　大会記録映像（ＤＶＤ等）の制作及びホームページ上での公開

⑵　大会記録写真集の制作

8　参加章等の作成

大会の開催を記念し，大会参加章や記念章等を作成する。

⑴　参加章，記念章等の作成

⑵　記念グッズ等の作成

9　その他

その他，広報基本方針に基づき，効果的な広報を実施する。

なお，大会開催時の報道活動に関し，その円滑な運営を図るため，報道機関による組織を別途設置する。

報告事項２－⑥

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

第75回国民体育大会県民運動基本方針

１　目的

第75回国民体育大会において，県民総参加のもと「『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する国体」の実現を目指して，県民運動を展開することとする。

この県民運動を通じて，県民の国体開催に係る機運の醸成を図るとともに，本県の魅力発信や健康で活力に満ちた地域社会づくりに寄与することを目的とする。

２　基本目標

(1) 県民総参加のもと，国体イベントやボランティア活動への参加などで国体を盛り上げる。

(2) 全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。

(3) スポーツとの様々な関わりを通じて，生涯にわたってスポーツに親しむ。

(4) 豊かな自然，歴史・文化，食材など「本物。鹿児島県」の魅力を全国に発信する。

(5) 東京オリンピックの感動と興奮を引き継ぎ，オリンピックイヤーにふさわしい取組を行う。

３　県民運動の進め方

(1) 県民運動は，県民一人一人が国体の開催意義を理解し，様々な形で参加，協力することを基本とする。

(2) 県準備（実行）委員会は，県民運動の全県的な推進計画を定め，普及・啓発活動を行うとともに，市町村や各種団体等と連携を図り，県民総参加の取組を推進する。

(3) 市町村準備（実行）委員会は，県民運動の市町村における推進計画を定め，普及・啓発活動を行うとともに，地域住民や各種団体等と協力して，地域の特性に応じた実践活動を推進する。

(4) 学校やＮＰＯ法人，企業，各種団体等は，県や市町村の推進計画に協力するとともに，それぞれの特色を生かした活動に取り組む。

報告事項２－⑦

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日決定

第75回国民体育大会県民運動基本計画

第75回国民体育大会県民運動基本方針に基づき,県民等が国体に様々な形で参加,協力することを促すため，次のとおり具体的取組を示し，国体開催に向けた県民総参加の取組を推進する。

1　具体的取組

⑴　県民総参加のもと，国体イベントやボランティア活動への参加などで国体を盛り上げる。

- 総合開会式・閉会式の出演や炬火イベント等への参加
- 競技会場での観戦や選手の応援
- ボランティア活動への参加
- 国体募金や企業協賛による協力
- 競技会場，道路，河川，海岸等の清掃活動に参加
- マイカー自粛や公共交通機関の利用促進

⑵　全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。

- 明るい笑顔で元気なあいさつと親切な応対
- 競技会場や沿道，街並みなどを花で彩る花いっぱい運動への参加
- 手づくりののぼり旗や案内看板等による歓迎・応援
- 都道府県応援団の結成による歓迎・応援
- 鹿児島の誇る文化・芸術，郷土料理や特産品などでのおもてなし

⑶　スポーツとの様々な関わりを通じて，生涯にわたってスポーツに親しむ。

- デモンストレーションスポーツへの参加
- 会場地市町村等におけるスポーツ教室など，各種スポーツイベント等への参加・交流
- 県内で行われる各種競技会やスポーツキャンプ等の観戦・応援
- 各人の関心や適性に応じた生涯スポーツへの取組

⑷　豊かな自然，歴史・文化，食材など「本物。鹿児島県」の魅力を全国に発信する。

- 郷土の自然環境，歴史・文化，食などの鹿児島らしい魅力を再認識・発信
- 地産地消を基本とした鹿児島の安心・安全な食材や郷土料理の提供・紹介
- 鹿児島の特産品の知名度アップと販売促進
- インターネット，テレビや広報誌など様々なメディアを活用した情報発信

⑸　東京オリンピックの感動と興奮を引き継ぎ，オリンピックイヤーにふさわしい取組を行う。

・　東京オリンピックと連動した広報の実施及び啓発イベントへの参加
・　東京オリンピックで活躍した選手とのイベント等での交流
・　東京オリンピックの日本選手の活躍を伝える展示ブースの設置
・　東京オリンピックと連動した文化プログラムの実施による文化・芸術の魅力発信

2　推進スケジュール

年　度	事　業　内　容
平成27年度 （開催内定）	・県民運動基本方針，基本計画の策定
平成28年度	・各種県民運動の実践活動の開始
平成29年度 （開催決定）	・国体募金，企業協賛の開始
平成30年度	・大会運営ボランティアの募集開始
平成31年度	・大会運営ボランティアの研修会 ・リハーサル大会での実践活動
平成32年度 （開催年）	・本大会での実践活動

県民運動基本方針、基本計画に基づく推進

報告事項２－⑧

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日決定

第75回国民体育大会競技用具整備基本方針

第75回国民体育大会（以下「大会」という。）の競技運営に要する器具・用具（以下「競技用具」という。）については，競技運営に万全を期するとともに，本県スポーツの普及・振興に資するため，次の方針に基づき計画的に整備する。

１　競技用具の整備に当たっては，「第75回国民体育大会県及び会場地市町村の業務分担基本方針」及び同細目並びに別に定める競技用具整備要項及び競技用具整備計画に基づくものとする。

２　競技用具の整備に当たっては，県と会場地市町村が十分協議するとともに，県競技団体，公益財団法人日本体育協会及び中央競技団体と連携の上，推進するものとする。

３　競技用具は，原則として県及び会場地市町村並びに県競技団体等が現有するものを活用することとし，現有の競技用具で不足するものについては借用し，借用困難な場合についてのみ購入するものとする。

４　一般の利活用が見込めない競技用具や通常の競技会運営に必要な競技用具の量，質を超えて整備しなければならないものについては，別に定める。
　なお，整備に当たっては，他県との共同購入を検討するものとする。

５　購入する競技用具の保管及び大会終了後の利活用等については，県及び会場地市町村がそれぞれの責任において行うものとする。

報告事項２－⑨

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

第75回国民体育大会式典基本方針

第75回国民体育大会の式典は，「国民体育大会開催基準要項」及び「第75回国民体育大会開催基本方針」並びに「第75回国民体育大会開催基本構想」を踏まえ，「『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する国体」にふさわしい式典とする。

１　基本理念

(1)　簡素な中にも創意工夫を凝らしつつ，県民総参加のもと，鹿児島らしさを生かし，国内最大のスポーツの祭典として，東京オリンピックイヤーにふさわしい式典とする。

(2)　鹿児島の素晴らしさを感じることのできるような心のこもったおもてなしで訪れる人々を温かく迎え，参加する者同士の絆が深まる式典とする。

(3)　鹿児島の美しく雄大な自然や豊かな食文化，先人より受け継いできた文化や伝統など，鹿児島の誇れる魅力を全国に発信する式典とする。

２　式典の構成

式典は，国民体育大会の総合開・閉会式，各競技会の表彰式，大会旗・炬火イベントで構成する。

(1)　総合開・閉会式

総合開・閉会式は，「国民体育大会開催基準要項」第19項に規定する式典，選手団入退場及び集団演技で構成する。

(2)　各競技会表彰式

各競技会の表彰式は，「国民体育大会開催基準要項」第19項第５号及び同細則第７項の規定で構成する。

(3)　大会旗・炬火イベント

大会旗・炬火イベントは，事前の開催気運を高める行事及び総合開・閉会式で実施する。

３　式典の企画・運営

(1)　総合開・閉会式

総合開・閉会式は，第75回国民体育大会鹿児島県準備（実行）委員会が企画し，第75回国民体育大会鹿児島県実施本部（仮称）が運営に当たる。

(2)　各競技会表彰式

各競技会の表彰式は，第75回国民体育大会鹿児島県準備（実行）委員会が別に定める要項に基づき，会場地市町村準備（実行）委員会が関係競技団体と協議の上，企画・運営に当たる。

(3)　大会旗・炬火イベント

大会旗・炬火イベントは，別に定める要項に基づくものとする。

報告事項２－⑩

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日決定

第75回国民体育大会輸送・交通基本方針

第75回国民体育大会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督，役員，視察員，報道員その他関係者（以下「大会参加者」という。）及び一般観覧者の輸送に当たっては，道路及び交通の状況等に十分配慮する必要があることから，次の基本方針により安全かつ確実に行うものとする。

１　大会参加者の輸送

(1)　県外参加者の輸送

全国から来県する大会参加者の輸送方法については，派遣元の各都道府県で決定する。

なお，必要に応じて，県及び会場地市町村は，関係機関等の協力を得て輸送の円滑化に努める。

(2)　総合開・閉会式の輸送

総合開・閉会式における輸送については，県が輸送計画等を策定して実施することとし，会場地市町村，関係機関等の協力を得て輸送の円滑化に努める。

(3)　競技会場地の輸送

ア　競技会場地における大会参加者の輸送については，会場地市町村が関係機関等の協力を得て実施する。

イ　同一の競技が２市町村以上の会場地で行われる場合は，円滑な輸送が行われるよう，関係市町村が協議して実施する。

(4)　指定集合地の設定

県及び会場地市町村は，総合開・閉会式及び競技会場地における大会参加者の輸送を円滑に行うため，宿舎の分布，参加人員，道路交通事情等を考慮し，バスその他の車両の乗降場として必要に応じて指定集合地を設ける。

２　一般観覧者の輸送

(1)　一般観覧者の総合開・閉会式及び競技会場地への輸送については，県及び会場地市町村が関係機関等の協力を得て，バス及び鉄道等の利用による円滑な輸送に努める。

(2)　自家用車での総合開・閉会式会場及び競技会場への乗り入れについては，道路交通事情及び駐車場の設置状況に応じ，必要な制限を行う。

3　車両等及び駐車場の確保

(1)　大会参加者及び一般観覧者の輸送に必要な車両等については，県及び会場地市町村が関係機関等の協力を得て，その確保に努める。

(2)　県及び会場地市町村は，総合開・閉会式会場及び競技会場における駐車場の確保に努めるとともに，遠隔となる駐車場については，輸送に係る必要な措置を講じる。

4　交通安全対策

県及び会場地市町村は，大会開催期間中における交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため，関係機関等はもとより，広く県民に協力を求め，実情に応じて適切な対策を講じる。

5　環境に配慮した運営

県及び会場地市町村は，総合開・閉会式及び競技会場地における大会参加者及び一般観覧者の輸送については，マイカー自粛や公共交通機関の利用促進の呼びかけなど，環境に配慮した運営に努める。

報告事項２－⑪

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

第75回国民体育大会宿泊基本方針

第75回国民体育大会に参加する選手・監督，役員，視察員，報道員及びその他の関係者（以下「大会参加者」という。）の宿舎及び食事については，大会参加者が最良のコンディションで十分な活躍ができるよう，次の基本方針に基づき提供する。

１　宿舎

(1)　大会参加者の宿舎は，原則として会場地市町村内のホテル，旅館等（旅館業法の許可を受けて営業を行うホテル，旅館及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。

(2)　会場地市町村内のホテル，旅館等で大会参加者の収容が困難な場合は，関係機関，団体等と協議の上，近隣市町村（原則として県内）のホテル，旅館等を利用する。

なお，その地域の実情に応じ，公共施設，民家等も利用する。

(3)　風紀上，衛生上及び安全対策上等の理由により支障があると認められる宿舎は利用しない。

２　配宿

(1)　選手・監督及び競技会に関わる役員（以下「選手・監督等」という。）の配宿は，競技会場及び練習会場までの交通状況等を考慮し，会場地市町村が行う。ただし，近隣市町村（原則として県内）のホテル，旅館等への配宿，及び選手・監督等を除く大会参加者の配宿は，県と会場地市町村が協議して行う。

(2)　選手・監督の宿舎は，都道府県別，競技別，競技種別及び男女別を考慮して配宿する。

(3)　役員，視察員，報道員等の宿舎は，原則として選手・監督の宿舎とは別にする。

３　宿泊料金

大会参加者の宿泊料金は，第75回国民体育大会鹿児島県準備（実行）委員会と旅館等の関係団体と協議の上，公益財団法人日本体育協会において決定する。

４　食事

大会参加者に提供する食事は，地産地消を基本とし，安心・安全で栄養素のバランスが良く，鹿児島県ならではの多彩な食文化と新鮮な農林水産物を生かした郷土色豊かなものを提供する。

報告事項２－⑫

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

第75回国民体育大会医事・衛生基本方針

第75回国民体育大会に参加する選手・監督，役員，視察員，報道員等及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の医事・衛生について，大会参加者等が清潔で快適な環境のもとで十分な活躍と観覧ができるよう，次の基本方針により実施する。

１　医療救護

大会参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため，関係機関，団体等の協力を得て，応急処置及び医療機関への移送等の実施に必要な医療救護体制を整える。

２　防疫

大会参加者等の感染症の発生を予防し，及びそのまん延を防止するため，関係機関，団体等の協力を得て，防疫体制を整えるとともに，防疫に関する知識の普及及び意識の一層の向上を図る。

３　食品衛生

大会参加者等の食の安心・安全を確保するため，関係機関，団体等の協力を得て，宿舎及び食品取扱施設等の監視，指導を行うとともに，食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の向上を図る。

４　環境衛生

大会参加者等に清潔で快適な環境を提供するため，関係機関，団体等はもとより，広く県民の協力を得て，宿舎の衛生対策，廃棄物の適正な処理，ねずみ・衛生害虫等の駆除，飲料水の衛生対策，動物の適正管理等に努めるとともに，環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の向上を図る。

５　馬事衛生

馬術競技出場馬に対し，関係機関，団体等の協力を得て，必要な防疫措置等を行い，伝染病の発生防止に努めるとともに，傷病の発生に速やかに対処できる診療体制を整える。

余　白

報告事項２－⑬

第75回国民体育大会

年度		平成22年度(2010)	平成23年度(2011)	平成24年度(2012)	平成25年度(2013)	平成26年度(2014)
逆年		10年前	9年前	8年前	7年前	6年前
事務局組織		国体準備班設置			国体準備課(知事部局)設置	
推進組織	準備(実行)委員会組織		国体県準備委員会 総会 常任委員会	総務専門委員会 競技専門委員会		広報・県民運動専門委員会 式典専門委員会 輸送・交通専門委員会 宿泊・衛生専門委員会
	会場地市町村組織				会場地市町村準備委員会（随時設置）	
総務	開催手続	開催要望 開催内々定				中央競技団体正規視察 県議会 開催決議
	全体計画		開催基本方針		開催準備総合計画	
	会場地選定			県及び会場地市町村の業務分担基本方針 会場地市町村選定基本方針 市町村連絡会議 競技団体連絡会議	県及び会場地市町村の業務分担の細目 会場地市町村選定(正式競技，特別競技)	
	文化プログラム					
	総合案内					
	行幸啓・お成り					
	施設整備					
	会場管理					
	募金・企業協賛					
競技	競技運営			実施競技選択基本方針 競技役員等養成基本方針	公開競技実施基本方針 競技役員等養成基本計画 競技役員等編成基本方針	デモスポ実施基本方針 競技運営基本方針
	競技用具					
広報・県民運動	広報					広報基本方針 広報基本計画
	県民運動					
式典	式典・演技					
輸送・交通	輸送・交通					
宿泊・衛生	宿泊					
	医事・衛生					
警備・消防	警備・消防防災					
	情報通信					

国体準備委員会第５回常任委員会
平成２７年５月２７日　決定

開催準備総合計画（平成27年５月改訂）

平成27年5月27日現在

平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	平成31年度(2019)	平成32年度(2020)		
5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年		
				県実施本部		第75回国民体育大会	第20回全国障害者スポーツ大会
		国体・全国障害者スポーツ大会県実行委員会					最終総会　解散
	警備・消防専門委員会						
その他，必要に応じて各種専門委員会に部会を設置							
		同実行委員会					
		総合視察(日体協・文科省)					大会報告書
開催申請		開催決定・会期決定					
開催内定							
開催準備総合計画（改訂）							
開催基本構想							
会場地市町村選定(公開競技)							
会場地市町村選定(デモンストレーションスポーツ)		デモスポ実施申請					
		会場地市町村選定（オリンピック対策競技）					
		文化プログラム実施基本方針	文化プログラム事業募集等（実施要綱，事業募集等）		文化プログラムの実施		
				文化プログラム実施申請			
		総合案内基本方針	総合案内計画の推進		総合案内・休憩所		
		警衛基本計画，行幸啓・お成り計画の検討			行幸啓本部		
競技施設整備の推進							
		会場管理基本方針	会場管理基本計画	係員編成計画	装飾，飾花等の設置		
			装飾基本方針				
	募金・企業協賛推進基本方針	募金・企業協賛募集					
	募金・企業協賛推進計画						
	リハーサル大会開催基準要項				記録本部		
	リハーサル大会開催競技会選定			各リハーサル大会			
	記録業務基本方針	自衛隊協力要請基本方針	自衛隊協力要請基本計画		大会実施要綱		
	記録業務推進計画				総合・競技別プログラム		
競技役員等編成計画							
競技役員等養成事業の推進							
競技用具整備基本方針	競技用具整備要項				総監督会議		
	競技用具整備計画の策定及び推進						
愛称・スローガン		イメージソング	ダンス	公式ポスター・参加章・記念章・ガイドブック等			
マスコットキャラクター			報道委員会		全国報道者会議		
		開催決定イベント	カウントダウンイベント				
県民運動基本方針	県民運動アクションプログラム	ボランティアの募集・育成					
県民運動基本計画							
式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画	式典実施計画・実施要項		式典本部		
	式典準備の推進（式典プログラム，集団演技，式典音楽，炬火リレー等）				式典リハーサル		
		炬火イベント基本方針					
輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画				輸送本部		
	県外参加者等輸送計画，総合開・閉会式輸送計画等				総合開・閉会式輸送計画		
宿泊基本方針	宿泊基本計画				合同配宿本部		
宿泊施設等調査，配宿計画・調整，その他宿泊関連業務の推進							
		標準献立作成方針	標準献立の作成・普及，弁当関連対策				
医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画			医療救護班編成計画	救護本部		
	医療救護・各種衛生対策の推進						
					馬事衛生対策本部		
	警備・消防防災基本方針	関係機関との協力体制整備・調整等					
	警備・消防防災基本計画				消防防災本部		
					警備本部		
		情報通信基本計画			情報通信本部		

報告事項３

第75回国民体育大会開催申請書の提出

公益財団法人日本体育協会「国民体育大会開催基準要項」に基づき，第75回国民体育大会開催申請書を，下記のとおり，提出する。

記

１　提 出 者
　　公益財団法人鹿児島県体育協会会長
　　鹿児島県知事
　　鹿児島県教育委員会

２　提出時期
　　平成27年６月上旬

３　提 出 先
　　公益財団法人日本体育協会会長
　　文部科学大臣

４　そ の 他
　　平成27年７月頃，開催内定の予定

〔参考〕公益財団法人日本体育協会「国民体育大会開催基準要項」（抜粋）

13　大会開催の申請
⑴　大会の開催を希望する都道府県は，都道府県体協等会長，都道府県知事及び教育委員会とが連署の上，日体協会長及び文部科学大臣宛に開催申請書を提出する。
⑵　開催申請書の提出は，原則として大会開催年の５年前の年の６月１日から６月30日までとする。
⑶　開催申請書の様式及び添付書類は，別に細則第６項で定める。

参　考

第７５回国民体育大会開催に関する決議

国民体育大会は，国内最大のスポーツの祭典として，広く国民の間にスポーツを普及し，国民の健康増進と体力の向上を図るとともに，地方スポーツの振興と地方文化の発展に大きく貢献してきた。

平成３２年（２０２０年）に本県で４８年ぶりの開催を目指す第７５回国民体育大会は，積極的なスポーツ参加の促進やスポーツ水準の向上など，本県スポーツの普及・振興に大きく寄与するとともに，桜島や霧島をはじめとする美しく雄大な自然や豊かな食文化，先人より受け継いできた文化や伝統など，本県の誇れる魅力を全国に発信する絶好の機会である。

また，同年には東京オリンピックの開催が決定しており，国民のスポーツに対する関心が一層の高まりを見せる中で国体を迎えることが期待される。

本県では，第７５回国民体育大会が，明るく豊かで「力みなぎる・かごしま」づくりにつながる県民が夢と希望を持ち，心に残る大会を目指し，県民総参加のもと，鹿児島らしさを生かした大会となるよう，「県民が夢と希望を持ち心に残る大会」，「スポーツの普及・振興を図る大会」，「簡素・効率化を図る大会」，「鹿児島の魅力を発信する大会」の４つの目標を掲げて，開催準備に取り組んでいるところである。

よって，本県議会は，第７５回国民体育大会（本大会）が鹿児島県で開催されるよう，県民の総意に基づき強く要望する。

以上，決議する。

平成２７年３月２０日

鹿　児　島　県　議　会

上記は平成 27 年第 1 回鹿児島県議会定例会において 3 月 20 日

原案可決されたものであることを証明する

平成 27 年 5 月 15 日

鹿児島県議会議長　池　畑　憲　一　　鹿児島県議会議長印

余　白

参　考　資　料

１　今後の主なスケジュール

２　第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会会則

３　第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会総会から常任委員会への委任事項

４　第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会専門委員会規程

５　第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」等の概要

参考資料１

今後の主なスケジュール

逆年	年度	主な手続き等
５年前	平成27年度 (2015)	○　「開催申請書」提出（６月） ＜県体協・県・県教委→日体協・文科省＞ ○　本県開催の内定（７月頃）＜日体協＞
４年前	平成28年度 (2016)	○　会期日程の希望提出＜県準備委員会→日体協＞ ○　デモンストレーションスポーツの実施競技及び会場地市町村選定
３年前	平成29年度 (2017)	○　県実行委員会，会場地市町村実行委員会の設立 ○　総合視察＜日体協・文科省＞ ○　本県開催及び会期の決定（７月頃）＜日体協＞ ○　募金・企業協賛の募集開始
２年前	平成30年度 (2018)	○　大会運営ボランティアの募集開始
１年前	平成31年度 (2019)	○　県実施本部の設置 ○　各競技リハーサル大会 ・　全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ＜南部九州４県開催＞（７～８月）
開催年	平成32年度 (2020)	・　東京オリンピック　（7/24～8/9　17日間） ・　東京パラリンピック（8/25～9/6　13日間） ○　第75回国民体育大会（9/中旬～10/中旬　11日間以内） ○　第20回全国障害者スポーツ大会（国体終了後 3日間）

参考資料２

国体準備委員会設立総会
平成23年８月９日　決定

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会会則

第１章　総則

（名称）

第１条　この会は，第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会（以下「本会」という。）と称する。

（目的）

第２条　本会は，第75回国民体育大会（冬季大会を除く。以下「大会」という。）を開催するために必要な準備を行うことを目的とする。

（事業）

第３条　本会は，前条の目的を達成するため，次に掲げる事業を行う。

⑴　大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること。
⑵　大会における実施競技及び会場地市町村に関すること。
⑶　競技施設及び関連施設に関すること。
⑷　大会開催及び準備のための経費に関すること。
⑸　関係行政機関及び関係団体との連絡調整に関すること。
⑹　その他本会の目的達成に必要な事業に関すること。

第２章　組織

（構成）

第４条　本会は，会長及び委員をもって構成する。

２　委員は，次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

⑴　県及び市町村の代表者及び役職員
⑵　県及び市町村の議会を代表する者
⑶　関係競技団体，その他関係行政機関・団体の代表者及び役職員
⑷　学識経験を有する者
⑸　その他大会の開催準備に関係のある者

（役員）

第５条　本会に，次の役員を置く。

⑴　会長　　１名
⑵　副会長　　７名以内
⑶　常任委員　　50名以内
⑷　監事　　３名以内

（役員の選任）

第６条　会長は，鹿児島県知事をもって充てる。

２　副会長及び常任委員は，総会の承認を得て委員のうちから会長が委嘱する。

３　監事は，総会の承認を得て会長が委嘱する。

（役員の職務）

第７条　会長は，本会を代表し，会務を総理する。

２　副会長は，会長を補佐し，会長に事故あるときは，あらかじめ会長が指名した副会長が，その職務を代理する。
３　常任委員は，常任委員会を構成し，第12条第７項に掲げる事項を審議する。
４　監事は，本会の財務を監査する。
（任期等）
第８条　委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は，委嘱されたときから本会の目的が達成されたときまでとする。ただし，委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は，その委員等は，辞任したものとみなし，その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。
２　会長は，委員等に特別な事情が生じたときは，その職を解き，必要に応じて補充することができる。
３　会長は，前２項の規定により委員等の変更があった場合は，次の総会において報告する。
（顧問及び参与）
第９条　本会に顧問及び参与を置くことができる。
２　顧問及び参与は，会長が委嘱する。
３　顧問は，会務の重要な事項について，会長の諮問に応じ助言を行う。
４　参与は，会長が必要と認める事項について，助言する。
５　顧問及び参与の任期等は，前条の規定を準用する。

第３章　会議

（会議の種類）
第10条　本会に，次の会議を置く。
⑴　総会
⑵　常任委員会
⑶　専門委員会
（総会）
第11条　総会は，会長及び委員をもって構成する。
２　総会は，会長が招集する。
３　総会の議長は，会長又は会長が指名した者がこれにあたる。
４　総会は，次に掲げる事項について審議し，決定する。
⑴　大会の開催基本方針に関すること。
⑵　会則の制定及び改廃に関すること。
⑶　事業計画及び事業報告に関すること。
⑷　予算及び決算に関すること。
⑸　常任委員会に委任する事項に関すること。
⑹　その他重要な事項に関すること。
５　総会は，委員の過半数の出席がなければ開会し，議決することはできない。ただし，総会に出席できない委員は，あらかじめ通知された事項について，代理人に権限を委任し，又は書面で議決に加わることができる。

6　総会の議事は，出席委員（代理人に権限を委任し，又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数で決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

（常任委員会）

第12条　常任委員会は，会長，副会長及び常任委員をもって構成する。

2　委員長は，会長をもって充てる。

3　副委員長は，副会長をもって充てる。

4　常任委員会は，必要に応じ会長が招集する。

5　常任委員会の議長は，委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。

6　副委員長は，委員長を補佐し，委員長に事故あるときは，あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。

7　常任委員会は，次に掲げる事項について審議決定し，その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

⑴　総会から委任された事項に関すること。

⑵　総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること。

⑶　専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任事項に関すること。

⑷　その他会長が必要と認める事項に関すること。

8　前条第５項及び第６項の規定は常任委員会について準用する。

（専門委員会）

第13条　専門委員会は，会長が委嘱した専門委員をもって構成する。

2　専門委員会は，常任委員会から付託された事項について調査審議し，その結果を常任委員会に報告し，承認を得なければならない。

3　専門委員会は，常任委員会から委任された事項について審議決定し，その結果を常任委員会に報告する。

4　第８条の規定は，専門委員の任期について準用する。

5　前各項に定めるもののほか，専門委員会に関し必要な事項は，常任委員会に諮り，会長が別に定める。

第４章　会長の専決処分

（会長の専決処分）

第14条　会長は，総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないと認めるとき，又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては，これを専決処分することができる。

2　会長は，前項の規定により専決処分したときは，これを次の総会等において報告し，その承認を求めなければならない。

第５章　事務局

（事務局）

第15条　本会の事務を処理するため，事務局を置く。

2　事務局に関し必要な事項は，会長が別に定める。

第６章　会計

（経費）

第16条　本会の経費は，負担金及びその他の収入をもって充てる。

（予算及び決算）

第17条　本会の収支予算は，総会の議決により定め，収支決算は，監事の監査を経て，総会の承認を得なければならない。

（会計年度）

第18条　本会の会計年度は，毎年４月１日に始まり，翌年３月31日に終わる。

２　本会の会計に関し必要な事項は，会長が別に定める。

第７章　補則

（委任）

第19条　この会則に定めるもののほか，本会の運営に関し必要な事項は，会長が別に定める。

附　則

１　この会則は，平成23年8月9日から施行する。

２　本会の設立当初の会計年度は，第18条の規定にかかわらず，この会則の施行の日から平成24年３月31日までとする。

参考資料３

国体準備委員会第２回常任委員会
平成 ２４ 年 ８ 月 １０ 日　決定

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会
総会から常任委員会への委任事項

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会会則第11条第４項第５号の規定に基づく常任委員会への委任事項は，次のとおりとする。

１　開催準備総合計画及び開催基本構想に関すること

２　会場地市町村の選定に関すること

３　県と会場地市町村の業務分担に関すること

４　実施競技の選定に関すること

５　実施競技の企画及び運営に関すること

６　競技役員等の養成及び編成に関すること

７　募金及び協賛に関すること

８　広報及び県民運動に関すること

９　輸送及び交通に関すること

10　宿泊及び衛生に関すること

11　医療，消防及び警備に関すること

12　式典の企画及び運営に関すること

13　その他開催準備に関すること

参考資料４

国体準備委員会第１回常任委員会
平 成 ２４ 年 ８ 月 １０ 日 決 定
平 成 ２６ 年 ５ 月 ２６ 日 改 正

第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会
専　門　委　員　会　規　程

（趣旨）

第１条　この規程は，第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会会則第13条第５項の規定に基づき，専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し，必要な事項を定めるものとする。

（委員会の種類等）

第２条　委員会の種類並びに常任委員会からの付託事項及び委任事項は，別表のとおりとする。

（役員）

第３条　委員会に次の役員を置く。

⑴　委員長　　１名

⑵　副委員長　　若干名

２　委員長及び副委員長は，第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会の会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

３　委員長は，委員会を代表し，会務を総理する。

４　副委員長は，委員長を補佐し，委員長に事故あるときは，あらかじめ委員長が指名した副委員長がその職務を代理する。

（会議）

第４条　委員会は，委員長が招集し，委員長が議長となる。

２　委員会の議事は，出席委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

３　委員長は，必要があるときは，専門委員以外の者の出席を求め，その意見又は説明を聴くことができる。

（部会）

第５条　委員会は，運営上必要があるときは，部会を設けることができる。

２　部会の委員は，会長が委嘱する。

３　部会に関する事項は，委員長が定める。

（委任）

第６条　この規程に定めるもののほか，委員会の運営に関し必要な事項は，当該委員会の委員長が会長の承認を得て別に定める。

附　則

この規程は，平成24年８月10日から施行する。

附　則

この規程は，平成26年５月26日から施行する。

（別表）　第２条関係

名称	付託事項	委任事項
総務専門委員会	1　開催準備総合計画及び開催基本構想の策定に関すること 2　会場地市町村の選定に関すること 3　県と会場地市町村の業務分担に関すること 4　他の専門委員会に属さない重要な事項に関すること	1　開催準備総合計画及び開催基本構想の進行管理に関すること 2　文化プログラムに関すること 3　他の専門委員会に属さない事項に関すること（重要なものを除く）
競技専門委員会	1　公開競技及びデモンストレーションスポーツの選定に関すること 2　実施競技の企画及び運営に係る計画の策定に関すること 3　その他実施競技の企画及び運営に係る重要な事項に関すること	1　実施競技の企画及び運営に関することのうち，次に掲げるもの ⑴　競技用具に関すること ⑵　リハーサル大会に関すること ⑶　競技記録に関すること ⑷　その他実施競技の企画及び運営に関すること（重要なものを除く） 2　競技役員等の養成及び編成に関すること
広報・県民運動専門委員会	1　広報の基本的事項に関すること 2　県民運動の基本的事項に関すること 3　その他広報及び県民運動に係る重要な事項に関すること	1　広報及び啓発の実施に関すること 2　県民運動の実施に関すること 3　愛称・スローガン，マスコット等の取扱いに関すること 4　報道機関との調整に関すること 5　記録映像及び記録写真に関すること 6　その他広報及び県民運動に関すること（重要なものを除く）
式典専門委員会	1　式典の基本的事項に関すること 2　その他式典に係る重要な事項に関すること	1　開・閉会式の企画及び運営に関すること 2　式典音楽の実施に関すること 3　式典演技の実施に関すること 4　炬火イベントの実施に関すること 5　その他式典に関すること（重要なものを除く）
輸送・交通専門委員会	1　輸送及び交通の基本的事項に関すること 2　その他輸送及び交通に係る重要な事項に関すること	1　県外参加者等の輸送に関すること 2　開・閉会式の輸送に関すること 3　競技会場地の輸送に関すること 4　その他輸送及び交通に関すること（重要なものを除く）
宿泊・衛生専門委員会	1　宿泊の基本的事項に関すること 2　医事・衛生の基本的事項に関すること 3　その他宿泊及び医事・衛生に係る重要な事項に関すること	1　宿泊に関すること 2　標準献立及び食品調達に関すること 3　医療救護及び防疫に関すること 4　食品衛生及び環境衛生に関すること 5　馬事衛生に関すること 6　その他宿泊及び医事・衛生に関すること（重要なものを除く）

参考資料５

第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」等の概要

大会名	第70回国民体育大会	第15回全国障害者スポーツ大会
目的	広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的としています。	障害のある選手が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、人々が障害に対して理解を深め、障害のある人の社会参加が促進されることを目的としています。
大会愛称（ロゴデザイン）	2015 紀の国わかやま国体	2015 紀の国わかやま大会
	「紀の国」は、万葉の時代より和歌山を表す言葉として使われ、今も県民に親しまれ、さまざまな場面で使われている言葉です。 「紀の国」を付けた愛称が県民に親しまれるとともに、「紀の国」を全国に発信します。	
開催期間	平成27年9月26日（土）～10月6日（火）	平成27年10月24日（土）～10月26日（月）
基本目標 基本方針	1　和歌山を元気にする国体 2　国体を契機としたスポーツの振興 3　活力に満ちたふるさとづくりに寄与する国体 4　和歌山の魅力を全国に発信する国体	1　可能性へのチャレンジ 2　心温まる『紀の国わかやま』へ 3　支え合う未来へ
スローガン	躍動と歓喜、そして絆 活力に満ちたふるさとづくりに寄与する大会の実現を通じ、和歌山の元気・活力・躍動感を全国にアピールするとともに、大会に参加するすべての人が躍動し、歓喜する。そこに交流が生まれ、絆が深まるような大会を目指すことをイメージしています。	
マスコット	 **きいちゃん** 紀州犬をモチーフにした元気いっぱいのマスコット。 体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Wと豊かな緑を表現。 生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好き。 いろんなことにチャレンジして、たくさんの人と友だちになりたいと思っています。 頑張る人を応援し、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を盛り上げていきます。	
イメージソング	**明日へと**　作詞／作曲　ウインズ平阪	
開・閉会式	総合開会式：平成27年9月26日（土） 総合閉会式：平成27年10月6日（火）	開会式：平成27年10月24日（土） 閉会式：平成27年10月26日（月）
	会場：紀三井寺公園陸上競技場	
実施競技 （平成27年3月現在）	正式競技：37競技　特別競技：1競技 公開競技：4競技 デモンストレーションスポーツ：27行事	正式競技：13競技 オープン競技：2競技
会場地市町村 （平成27年3月現在）	正式競技・特別競技：県内22市町村 ※県外開催：大阪府門真市、滋賀県大津市、兵庫県三木市、神奈川県伊勢原市 公開競技：県内4市町 デモンストレーションスポーツ：県内16市町	正式競技：県内7市町 オープン競技：県内1市
参加者数	約22,000人（47都道府県選手団）	約5,500人 （47都道府県・20指定都市選手団）

2015 紀の国わかやま国体

第70回国民体育大会　躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日(土) ▶ 10月6日(火)

2015 紀の国わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会　躍動と歓喜、そして絆

平成27年 10月24日(土) ▶ 10月26日(月)

会場地市町村一覧

競技名　国体正式競技
競技名　国体特別競技
競技名　国体公開競技
行事名　国体デモンストレーションスポーツ

競技名　全国障害者スポーツ大会 正式競技
競技名　全国障害者スポーツ大会 オープン競技

身＝身体障害者が出場できる競技
知＝知的障害者が出場できる競技
精＝精神障害者が出場できる競技

和歌山市
岩出市
紀の川市
橋本市
九度山町
高野町
海南市
紀美野町
かつらぎ町
有田市
有田川町
湯浅町
広川町
由良町
日高川町
日高町
美浜町
御坊市
印南町
みなべ町
田辺市
北山村
新宮市
上富田町
白浜町
古座川町
那智勝浦町
すさみ町
太地町
串本町

県外開催の競技

大阪府門真市
滋賀県大津市　兵庫県三木市
神奈川県伊勢原市

2015年3月現在